

崎山議員代表質問で登壇

2月議会 知事は政府の圧力に屈するな

自公政権から政権交代が実現してから早一年半が過ぎようとしている。自公政権の末期のていらくを見てきた国民・県民は、日本の前途に明るい希望を託した。特に沖縄が苦しめられている基地問題前進の、かつてない好機だと、大きな期待を寄せた。

だが、ご承知のように民主党政権に不信感を抱く国民・県民は多い。普天間、消費税など、国民、県民生活への約束違反、「抑止力は方便」発言のように、失望の連続だ。崎山嗣幸議員は、二月県議会で社民・護憲会派の代表質問で登壇し、この新たな政治情勢を踏まえて知事に迫った。

(2、3面に詳報)



揺るぎない発言で、県政に真っ向から知事の姿勢を正す崎山議員。

深刻な子どもの貧困

子どもの貧困率、沖縄全国最悪
37%、母子世帯は54.6%

沖縄の「子どもの貧困率」が全国最悪の37%という実態が報道などで明らかになり、社会問題化しています。県民の間では以前から知られていましたが、調査によって数値化され明らかになったことで、さらに県民に大きなショックを与え、対策が急がれています。

サキ山議員は昨年12月の議会において、この問題について、全国的な子どもの貧困率は16.3%であり、県当局は沖縄の実態を明らかにするとともに、県が策定を進めている「子ども貧困対策計画」について質疑を行い、策定を急ぐよう求めていました。

先日発表された県の予算では、深刻化する子どもの貧困対策について、「社会の宝である子どもの将来が、生まれ育った環境で左右されず、夢や希望をもって成長出来る社会を実現」するとして約60億円が計上。

また那覇市をはじめ、県内自治体でも子どもの貧困対策を中心に、貧困世帯への経済的援助の政策が本格化していることに、サキ山議員は「大変喜ばしい」と話しています。

昨年12月
議会質疑

崎山議員「子どもの
貧困対策について質す

新発表 子の貧困率 沖縄37%

山形大・児童養育院調査

最悪、全国の2.7倍

12年3世帯に1世帯「困窮」

食料買えず 43%

子どもの貧困率調査

ひとり親、深刻

今年度 就学援助57

鳩山「海兵隊抑止力 方便発言」に 喝

知事が「遺憾」。県民代表の怒りはこの程度か。

2月沖縄定例県議会は2月15日～3月29日まで開会され、新年度予算6,000億円の審議と代表質問、一般質問が行われた。サキ山議員は2月23日、社民・護憲ネット会派を代表して登壇し、政権交代後の失望感極まりない政治変化の下、知事の政治姿勢（基地問題・TPP問題・雇用・カジノ・離島対策）等々多岐にわたり質問した。また、予算特別副委員長として、審議に全力投球した。以下は主な質問の要旨。質問は新聞でも取り上げられた。報道資料（左上）参照。

崩れた辺野古
移設の根拠

2月議会から

鳩山前首相の「海兵隊の抑止力方便」発言は、普天間基地の辺野古移設の日米合意の根拠が崩れた。県民を欺く民主党政権への怒りは渦巻いている。

強行姿勢に変わりない。崎山議員は仲井眞知事に「理解し難いとか、遺憾」だけでは、海兵隊を否定することにはならず、曖昧模糊だと反論した。

名護市長は県民の誇り

さらに、政府による名護市への再編交付金のストップはアメとムチの制裁である。また、政府による名護市への不服申し立ては、地域主権を標榜する民主党政権の地方自治破壊であると批判をした。

そして、政府の理不尽な圧力に屈しない稲嶺名護市長を県民の誇りと高く評価し、仲井眞知事も連携するよう求めた。しかし、知事は、振興策と基地はリンクしないといいつつ

「抑止力」について

◇質 問：知事は海兵隊の抑止力をどう考えるか。

*知事答弁：4軍を持っている。軍隊は一般的に抑止力はある。

◇質 問：名護市への再編交付金は兵糧責めか。

*知事答弁：振興策と基地はリンクすべきではない。あくまで、国と名護の問題であり、重大な関心を持っている。

◇質 問：県外移設の行動計



も、冷やかな反応を示した。

主な質問事項

- 知事の政治姿勢
- 農林水産業の振興と育成について
- 雇用対策について
- 指定管理者制度について
- 浄水場の委託化について
- 消防の広域化について
- 離島振興について
- 公共交通について
- 育児休業制度について

TPPへの参加について

◇質 問：TPPへの参加は沖縄農業関連産業に打撃を与える。
*比嘉農林部長

画はどうなっているか。
*答 弁：全国へ負担を分かち合うよう、世論喚起する行動計画を策定する。

欠陥機オスプレイ配備

◇質 問：欠陥機オスプレイ配備に反対すべきでないか。
*又吉知事公室長：オスプレイの墜落事故は承知している。CH46の代替機と聞いているが、不確実な要素がある。

カジノ断念の考えは

◇質 問：カジノは犯罪の温床、青少年へ悪影響を与える。断念する考えはないか。
*勝目観光工部長：賛否両論ある。世界120カ国で合法化されているが、県民のコンセンサスを得られないと難しい。

浄水場委託化について

◇質 問：浄水場の委託化は水の供給体制に影響はないか。
*宮城企業局長：効率化の目的で、22年から30年にかけて委託化を進めている。23年は新石川浄水場を予定している。

◇質 問：東村高江のヘリパッド建設工事の中止は求めないのか。
*又吉知事公室長：知事が現場の視察もしており、北部訓練場の返還に伴うものであり、SACOの実施を求めていく。

離島振興対策について

◇質 問：離島振興対策はどうか。
*川上企画部長：医師確保は自治体大へ派遣。運賃軽減は22年から実施。砂糖、マンゴ、モズクのブランド化を強化する。客船航路の復活は難しいが、一部琉海が実施。
◇質 問：真玉橋、新都心までの区間バスの実証実験の目的は。
*川上企画部長：バス専用レーンを実施し、段階的に路面電車を検討する。実証実験である。
◇質 問：育児休業は川崎市で非常勤職員も対応している。県はどうするか。
*兼島総務部長：法律対象のところで、進めたい。非常勤は対象となっていない。

普天間基地県内移設の動きに緊急声明



県庁で記者会見する共同代表の崎山県議（右）とヘリ基地反対協議会の安次富さん（左）。

崎山さんが共同代表を務める「基地の県内移設に反対する県民会議」は2月16日、県庁内で普天間基地の県内移設を画策する動きに対し、抗議と緊急声明を発表した。名護市長選、県知事選で「県内移設反対」が民意であることは明らかだ。
しかし、政府の沖縄基地問題検討委員会を始め、諸方面から民意を無視した県内移設の動きが出てきているとして、声明を政府関係者に送った。

サキ山嗣幸議員

県議活動に磨き
真摯な姿勢に信頼厚く

県民・市民の要望の実現、相談に連日奔走



県政当局を質すサキ山県議。質問にも磨きがかかる

県民・市民の皆さん、こんにちは。県議一期目を邁進中のサキ山議員は、県政の課題を丁寧に取り組み、県民とともに平和運動を実践し、また県経済の物流の拠点である那覇港管理組合議会の議長としても活躍、連日のように市民や各団体からの要望など、その信頼度は日増しに高まっています。

那覇市役所で23年間行政に携わり、那覇市議五期の経験をフルに発揮し、議会活動にいよいよ磨きがかかっています。サキ山嗣幸議員は市民・県民とともに生活優先の県議会活動を展開する決意をこめて、六月定例会県議会に臨み、知事や関係部局長への質問を行いました。

(2、3面に詳報)

県政を語る集いで活動報告



県政を語る集いには多くの皆さんが集まった。

サキ山議員は6月10日に「県政を語る集い」を開催し、参加した市民の皆さんに、これまでの活動を報告し、今後県民生活優先の県政を目指す抱負と決意を語りました。

特に、いま県政の大きな課題となつている新しい沖縄振興計画に対しては、議会が関与することが望ましいとして強く主張しています。

沖縄振興計画を聞く!

議会質問にも迫力がみなぎる



*宮里福祉保健部長答弁：国の責務であり、国の動きを注視する。

◇質問：来年3月に切れる沖縄振興法に対し、県は新たな沖縄振興を求めておられる。取り組みの取組を伺う。

沖振法は、沖縄の特殊事情を踏まえ、高率補助、経済特区、優遇税制など社会資本は整備された。しかし雇用、県民所得、これも、教育問題などの課題がある。

新しい制度に向けては、3000億の一括交付金を政府に求めている。

原発からの自然エネルギーへの転換について

◇質問：福島原発が被災し、大量の放射能を放出し、二次被害を引き起こす深刻な事態となっている。県の考えは。

*下地環境生活部長答弁：原発導入計画はなく新エネルギー開発の支援をしている。沖縄電力の原発研究は、電力の安定供給のため情報収集と行う。

海ぶどうの養殖事業について

◇質問

問：海ぶどう陸上養殖の成功で、県を代表する水産物となっている。県の支援策は。

*比嘉農林水産部長答弁：平成22年に海ぶどうのブランド化をめざして設立された協議会に技術支援、衛生管理のノウハウを提供し、宣伝などで行っていく。

共同集荷場は地元事情を聞いていきたい。

カヌー選手の育成について

◇質問：沖縄水産のカヌー選手は日本を代表しアジア・世界選手権に出場し、全国のトップ



恩納村漁協の富山さんに海ぶどう養殖場を案内された。



レベル。練習場は糸満市の報得川だが、ヘドロが堆積し悪臭がひどい。また、河川への船揚げの整備は。

*平田文化観光部長答弁：河川の汚濁は畜舎や生活排水が原因。市と相談し、浄化に向け取り組みしていく。船揚揚場は現地を視察し、関係者と相談して行う。

男女共同参画センター

について

◇質問：女性の地位向上、意識啓発を支援する拠点の職員9名が理不尽にも解雇されようとしている。雇用継続を求めぬ。

*下地環境生活部長答弁：指定管理者が導入され、職員の採用は当該指定管理者の責任でなされることだ。

議会質問に迫力、高まる信頼

6月議会から

6月沖縄県定例県議会は6月21日～7月14日まで開会され、サキ山議員は7月1日、普天間基地移設、戦争被害者補償、新沖縄振興計画、原発問題、海ぶどう養殖事業、力又一選手育成、指定管理者雇用などについて質問した。以下は主な質問の要旨。

基地・振興計画・原発・産業関連等を質問

米軍基地問題について

◇質問①：日米安全保障協議会で普天間基地の辺野古崎V字型滑走路の建

設を県民の頭越しに合意した。これは到底容認できない。知事の見解を問う。

*知事答弁：地元の理解は得られず、辺野古移設は不可能で誠に遺憾だ。

◇質問②：V字型滑走路に「微修正を考慮」としている

が、知事は従来沖合移動を主張。今回は毅然とできるか。

*知事答弁：地元配慮の観点から沖合移動を求めたが、今回は承知しない。

戦争被害者の国家補償について

◇質問③：去る大戦で10・10空襲や艦砲射撃



内閣府に直接沖縄振興を要請



被害者の会安里清次郎氏から、連合会長の仲村信正氏に署名活動と支援が要請された。

で被害を受けた民間人約四万人が、何の保障もなく放置されている。国家補償を求める動きに対し支援を。

沖縄振興計画で那覇港の役割を明確に

知事に意見書

新沖縄振興計画の策定が進む中、沖縄の物流の拠点那覇港の管理運営にあたる那覇港管理組合（特別地方公共団体）の議会議長を務める崎山嗣幸さんは、6月24日知事室を訪ね、仲井眞知事（管理者）に対し、沖縄の自立経済構築に向けた那覇港の役割を明確に位置づけ、国際物流経済特区制度や国際観光推進制度の創設などを求める意見書を手渡した。



那覇港管理組合議長として意見書を知事に手渡した崎山嗣幸さん。（知事室）



しこうの奮闘記



那覇空港の拡張計画予定地域が漁場にどのような影響があるか、漁業を守る観点から、予定海域を視察し、今後の活動の糧とした。

↑ 那覇空港拡張予定海域を視察

↓ 農林研究センターを視察



全県的に広がっている松食い虫の防除虫を研究開発する、県の農林研究センター名護支所を視察した。



★本部の栽培漁業センターで養殖事業を視察

水産事業に関心の高いサキ山議員。獲る漁業から作る漁業が大切になっているが、3月には本部にある栽培漁業センターで養殖漁業の現状を視察。金城さんから事業の説明を受けた。



★那覇大橋の雑木

自転車事故もあって交通上危険だった那覇大橋沿いの雑木。崎山さんが南部国道事務所とかけあい刈り取りを実施。視界良好、安全な交通が回復した。



★奥武山公園売店補修

奥武山公園の売店の金城工ミ、高良美枝子さんから補修、修繕の要望を取り上げ、7月の土木委員会で、公園緑地班が予算措置を約束した。



会派で栽培漁業センター視察

かけはし

No.75

2011/11



政府の辺野古移設強行姿勢

9月定例議会

知事の「県外移設」は 本当に不動の主張か

9月定例県議会は9月17日から10月14日まで開催され、サキ山議員は社民・護憲会派の代表質問に立ち12項目にわたり、県当局を質した。

真っ先に今沖縄の将来に関わる普天間基地移設問題で、知事の「県外」移設主張の本気度を追求。野田首相が日米同盟の深化・発展を強調し、防衛大臣、外務大臣、など次々と閣僚を沖縄へ送り込み、辺野古移設の強行姿勢を示している中、知事は「最後まで県外を貫き通す覚悟はあるか」と鋭く突っ込んだ。知事は「無論、県外を言い続ける」と答弁した。

代表質問ではその他、八重山教科書問題、カジノ構想、農業、漁業、幼稚園の課題についても取り上げ、県当局を質した。(発言要旨は2～3面)



知事に問う。
「県外」を貫く
覚悟があるか。

代表質問に立つサキ山議員。知事に強く迫る。

海底(うみぞら)トンネルが開通

那覇港湾 議会議員長 サキ山議員、テープカットに感慨ひとしお



港湾議会議員長として役目をかみしめる。



開通式典 (サキ山議員は左から2人目)

去る8月28日、那覇港湾に位置し、那覇空港と若狭を結ぶ海底トンネルが開通した。全長1,140m、港湾物流の効率化と渋滞緩和が期待される。那覇港湾議会議員長として式典へ出席したサキ山議員は、莫大な投資額であり、役割をしっかりと果たすよう港湾議会としてもさらに頑張りたいと強調していた。